

交通事故防止の悲願をこめて訴えました

私の主張

第15回県下中学生交通安全弁論大会

渡辺 仁君(市川中)が優勝

十七人が熱弁をふるう

山梨県交通安全協会、N H K 甲府放送局および交通山梨新聞社の共催による第十五回「私の主張」県下中学生交通安全弁論大会は、十月二十五日午後一時から甲府市立西中学校体育館で開催された。

大会には、県下の各警察署単位に行われた予選の優勝者十七人が出場し、悲惨な交通事故の事例や体験などを述べ、中学生の立場から交通安全対策を訴え、交通事故防止の悲願をこめて熱弁をふるいました。

審査の結果「交通事故の体験を生かして」と題して、自分がオートバイには慣れて重傷を負った体験から、交通事故は人間の心の油断から起こるものだと訴えた市川中学校三年生渡辺仁君が優勝し、晴れの優勝旗と知事賞を獲得しました。いままでの優勝者は女子で、男子の優勝は十年ぶりです。

全校で安全運転講習

高校生の二輪車事故防止

最近二輪車による交通事故が増加し、とくに高校生が無謀な運転による交通事故が頻発していることはまことに憂慮に耐えないことである。

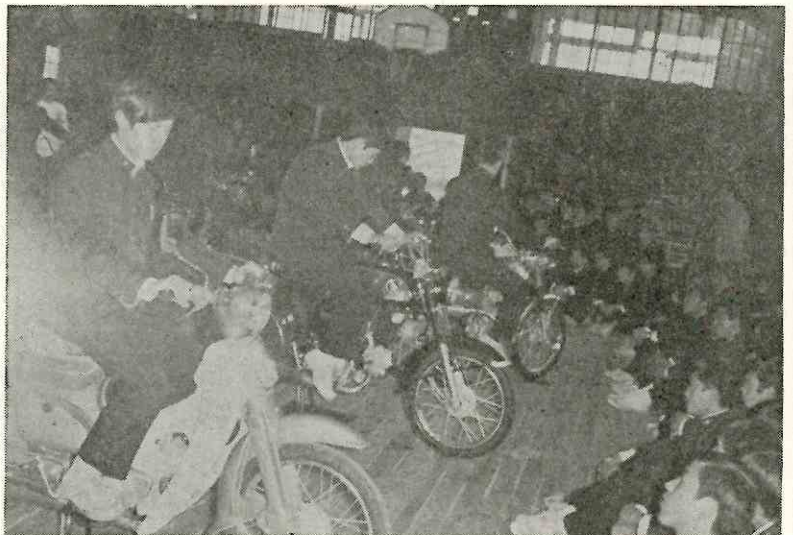
そこで県二輪車安全運転推進委員会(委員長は県安全協吉田文男専務理事)では、県警本部、県教委と協力して、県下の高校生の自働二輪車やバイクの利用者を対象に、実技を重点として安全運転講習会を実施しています。

この講習会は、県下の全高校四十校で行なう計画で、すでに二十八校が実施済みです。残りの高校については、来年三月までに終了する予定です。

講習の日時を設定して、県教委が教育課に申し込むと、県警交通機動隊や、委員会の指導員を派遣して、二時間の予定でみっちり実習することができ、各校とも熱心で、中には免許所持者だけでなく、生徒を対象に講習を行なった高校もあり、また、効果的な講習だから年一回実施してほしいという要望に応えて、春秋二回実施したところもありました。

県下の高校では、二輪車による通学を認めているところと認めていないところがあり、通学を認めている

- ▽入賞(甲府市長賞) 西桂中三年 前田みゆき
 - ▽同(県土木部長賞) 甲西中三年 野田真弓
 - ▽同 甲府西中三年 赤尾博美
 - ▽同 同 馬場公子
 - ▽同 上野原中三年 安藤弘子
- ▽優勝(知事賞) 市川中三年 渡辺仁
- ▽準優勝(県議会議長賞) 甲府南中三年 立川学
- ▽同(警察本部長賞) 早川南中三年 望月絵仁
- ▽同(県教育長賞) 同



実技を重点とした高校生の二輪車安全運転講習

変形ハンドルは事故のもと

最近オートバイのハンドルの幅が極端に狭いもの、高いもの等変形のハンドルに付けかえた改造二輪車が若者の間で流行し、とくにサーキット族やコミナリ族の多くはこの変形ハンドル車を乗りまわしているといわれています。

これらの変形ハンドルは姿勢が不自然になるため、手首の疲れや握力の低下でアクセルコントロールが乱れたり、ハンドルがわき腹に引っかかるなどきわめて危険で、カーブを曲り切れず衝突転倒する事故がめだつていっています。

変形ハンドルは事故のもと、くれぐれもご注意ください。

安全運転学校の休校日

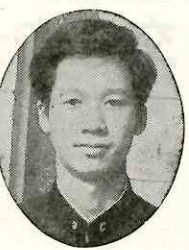
- ▽十二月 三、九、十七、二十三、二十八(午後)、三十一
- ▽一月 一、二、三、四、七、十三、十五、二十一、二十二
- ▽二月 四、十、十一、十八、二十四
- ▽三月 四、十、十八、二十一、二十四

交通事故防止俳句

青信号確かめ日傘開きけり
交差点霧の全身耳となる
山霧が捲く尾灯との距離
たもちゆく
車間距離けふも涼しく生
かしたり
はやる気をしめ帰省の
車間距離
渡る子と一緒に渡る赤と
んぱ
たづなりと寝て朝霧に荷
を締める
東風やさし手を挙げ渡る
園児いて
運転を何時も澄む瞳の爽
かに
秋晴れに御守ゆれてよき
速度

交通事故の体験を生かして

市川中学三年 渡辺 仁



昭和四十六年十一月十六日。その日こそ、私の人生にとって決して忘れることのできない日です。

激しい衝突音が周囲に轟き、ひどい痛みが私の体内を襲い、私は路上にとばされました。何が起きたのかからず、私の目の前は真暗になってしまいました。それからというもの私は、どこをさまよっていたのでしょうか。長く感じられた時間から、離れさり、ふと気がつく。私の目の前には真青な秋空が広がっていたのです。私は初めて「俺は生きてるんだ」「本当によかった」といううれしさと同時に、交通事故の恐ろしさがひしひしと胸に迫ってきました。

それは、秋の深まった十一月。私は、学校へ行く途中、はがきを出すため「左を向き」左側を歩いていったのです。すると、後から来たオートバイにはねられ、私は二カ月の重傷をおってしまっただけで済んだ。それからの病院生活は、私の心の奥深いところに眠っていた、大きな原因をつ

それは私達パレー部が練習試合へ行く途中、パレー部員が乗用車にはねられたのです。そしてこの悪夢の瞬間が私を二年前の私に戻したのです。

彼にも「俺は、絶対、交通事故になりたくない」という、私がかかっていた交乗事故に対する油断が、私を深い谷底へ突き落とす原因になってしまったのでした。

それからというもの、私は、左側を歩くことを嫌い、自転車に乗る時はスピードを落とし、横断歩道を渡るにも一人一歩、時間をかけて、左右を確認し渡るようになりました。

しかし、それから、二年後の今年、私の心から、このような考えが消えさうとした時、一つの衝きを与えたものがありません。

それは、なぜでしょう。それは、運転手は、取り締まりがあるから、交通規則を守っているというふうな考えから止めよう、という考えから、脱け出し、「人間の命は何よりも大切だ」「交通規則を破ることは、人間の生命を奪うことだ」ということだと思ふ。他人の生命を奪うことだと思ふ。他人の生命を奪うことだと思ふ。他人の生命を奪うことだと思ふ。

年末年始交通安全県民運動

12月10日～1月10日

飲酒運転の追放を

歩行者の事故防止も重点

年末年始はあつただし、交通も混雑することから例年事故が多発しています。この期間はとくに飲酒の機会も多く、また人出も多くなつて交通上危険なときでありますので、県民総ぐるみで、飲酒運転の追放と、歩行者とくにごともと老人の事故防止を重点に、年末年始交通安全県民運動を展開することになりました。

県民のみならず、わが家のこと、自分のこととして真剣に考え、実践していただきたいと思ひます。

▼運動の目的
年末年始における飲酒運転の追放と、歩行者とくにごともと老人の事故防止を重点として、職場、家庭等にその趣旨の徹底を図ることによって、交通安全を確保することを目的とします。

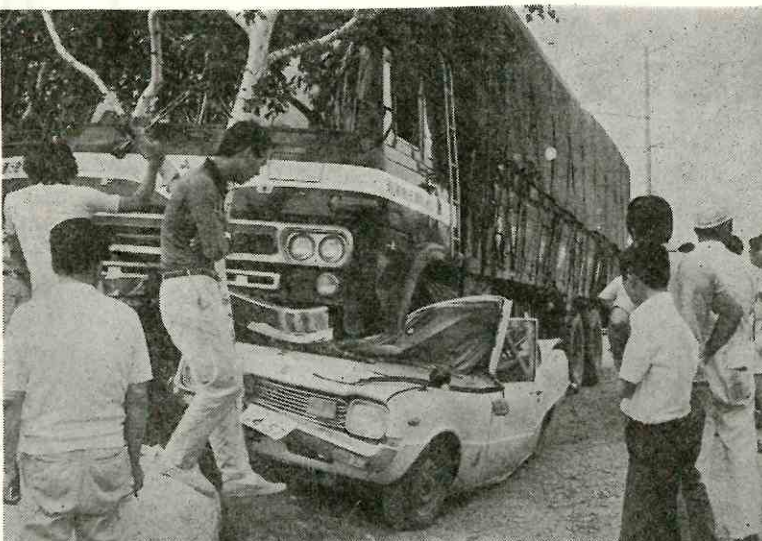
▼運動の期間
十二月十日から一月十日までの三十二日間です。

▼運動の主旨
山梨県、市町村
県教育委員会
県交通安全推進協議会
市町村交通安全協議会
県交通安全協会

▼運動の重点目標
飲酒運転の追放
歩行者、とくにごともと老人の事故防止
▼スローガン
酒を飲んだときは 絶対運転しない
よくたしかめて 無理と油断のない横断
▼実施事項
○飲酒運転の追放
酒を飲んだら運転しない、運転する人には飲ませない、飲んだ人には運転させない



第1部 最優秀賞 甲府市東光寺町 矢倉照夫氏撮影



第2部 最優秀賞 韮崎警察署 長田秋文氏撮影

せのない「三不運動」の周知徹底を図り、飲酒に對する風潮「習慣」意識等の現状を打破し、酒を飲む場合には車を運転して行かないように、また酒を出す

最優秀賞

第一部 矢倉照夫さん
第二部 長田秋文さん
第七回交通安全写真コンテスト

山梨県交通安全協会主催の、第七回交通安全写真コンテストは、八月三十一日に締め切り、九月六日十人の審査委員による審査会が開かれ、入選作品が決定しました。このコンテストは、交通

場合にはその旨を通知するよう、さらに酒類提供業者には運転する人に酒類を販売しないように呼びかけることになっていきます。警察では、この期間中強力に取締りを行ない、違反者を公表することになっていきますが、「お互に職場から違反者を出さない運動」も行なわれます。

○「歩行者、とくにごともと老人の事故防止」
交通安全県民総講習テキストを使って家庭の話合い、横断、とび出し、幼児のひとり歩き、路上での遊戯、自転車の横断歩道や交差点等における歩行者保護のための一時停止または徐行の励行などを話し合い、実践しましょう。

○「年賀はがき」による交通安全の呼びかけ運動
年賀状の余白を利用して交通安全を呼びかけましょう。

関係の写真撮影を通じて、交通問題に対する理解と関心を高めるために行なわれたもので、入選作品は今後のポスターの作成や機関紙に掲載され、交通安全の啓発に役立つことになっていきます。

今回の応募は、第一部（交通一般）の写真（第一）五九点、第二部（交通安全写真）一〇二点、計一六一点が寄せられました。昭和四十九年度も、第八回のコンテストを行ないたいので、多数応募してください。

なお、表彰式は、秋の全国交通安全運動のはじまつた九月二十一日に県教育委員会の会議室で行なわれ、中村太郎会長から入賞者に賞状と賞金が贈られました。

- 入賞者
- 最優秀賞 矢倉 照夫
甲府市東光寺町
- 金賞 堀 吉彦
敷島町島上条
- 銀賞 保坂 栄
石和町松本
- 銀賞 渡辺 章一
一宮町石中
- 銅賞 日原 力
塩山市上於曾
- 銅賞 大柴 和利
石和町中川
- 銅賞 磯部 寛
昭和町上河東

- 佳作 一六六
- 最優秀賞 長田 秋文
韮崎市韮崎町
- 金賞 榎林 稔
都留市鹿留
- 銀賞 森沢 弘
南甲府警察署
- 銅賞 望月 正士
甲府市城東四
- 銅賞 高野 隆夫
警察隊
- 銅賞 伊藤 勝雄
一宮町田中
- 銅賞 信藤 義徳
牧丘町西保
- 銅賞 名取 孝一
韮崎市韮崎町
- 佳作 一五五
警察隊

△石油の消費削減に協力のため、日曜祭日には給油所が休業しています。ガスの欠けは事故のもとになり、出発前に燃料計をよく確認しましょう。

△年末年始のため交通混雑や事故が予想されますので、マイカーの高速道路への乗り入れは自粛しましょう。

△お互いに不急、不要のマイカーの使用は自粛しましょう。

「魔女より愛をこめて」十六ミリ、カラー、二十八分、運転者、一般向。この映画は、楽しく見ながら、きびしく自己反省してもらおうために、アニメーションとドラマの合成で、画期的とも言える手法で作された交通安全映画です。自動車は、これを運転する人の心によって、さまざまな動き方をします。それは、車の動きを左右する一番大きな要因が、ドライバーの性格や心理状態にあると言え、から、そのところ、もし、その大ききくゆらいだら、一体

どうなるでしょう……。交通安全の背景には、つねにそうした心の乱れや迷いが、大きなポイントとなっています。まして、混合交通の時代においては、とくにドライバー相互間の理解と協力を求められていると言っても過言ではありません。換言すれば、交通事故防止のキーマンは、ドライバー自身が安全運転を自覚し、心のゆとりをもって、正しい運転を励行することだと言えます。

そこで、この映画は、そうした交通安全の背景にあるドライバーの心理状態に重点を置き、とかく陥り易い心の变化を、幾つかの事例の中で浮き彫りにし、問題提起の形で観客に示し、ドライバーである観客の自覚を促すことを意図しています。

二「ありがとうママ」先生十六ミリ、カラー、二十分、母親、一般向。交通安全対策は、世界的な命題となっています。なかでも、幼児は、日本中で一日平均一七四人、十分間に一人以上が、どこかで交通事故のため死んだり、ケガをしたりしています。この映画は、幼児を交通事故から守るためには、おとなが幼児の特性を知ったうえで、いかにして、日常生活の中で幼児を保護し、安全について指導し、教育していかなければならないかを、具体的に、楽しく説明するユニークな、幼児交通安全教育の手引であります。

幼稚園、保育所の先生、家庭の父母など、おとなを対象として、中央交通安全対策会議で制定された「幼児交通安全教本」に基づいてつくられたものです。そして、単なる教育的映画の枠をこえて、いきいきとした映像でアピールしています。

交通安全母の会

ホームソング

推薦 山梨県警察本部 山梨県交通安全協会 山梨県交通安全母の会

宮野 貢 作詞
清水 吾郎 作曲

愛情をもって

窓を開ければ 顔馴染み
何時も声かけ 話し合い
守り助ます 愛の旗
交通安全 母の会

共に育ち ひとすぢ
強く優しく 温かく
我が子の子 隔てなく
守りふれ合う 愛の旗
交通安全 母の会

新規購入 映画の紹介

このたび、つぎの映画を購入しました。ご活用ください。

一「魔女より愛をこめて」十六ミリ、カラー、二十八分、運転者、一般向。この映画は、楽しく見ながら、きびしく自己反省してもらおうために、アニメーションとドラマの合成で、画期的とも言える手法で作された交通安全映画です。自動車は、これを運転する人の心によって、さまざまな動き方をします。それは、車の動きを左右する一番大きな要因が、ドライバーの性格や心理状態にあると言え、から、そのところ、もし、その大ききくゆらいだら、一体